

製品名: PDGFRB マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81534**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	124kDa

抗原情報

遺伝子名	PDGFRB
別名	IMF1; IBGC4; JTK12; PDGFR; CD140B; PDGFR1; PDGFR-1
遺伝子 ID	5159.0
SwissProt ID	P09619
免疫原	大腸菌で発現したヒト PDGFRB (AA: 33-133) の精製された組み換え断片。

背景

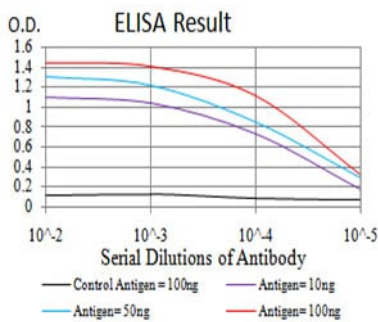
この遺伝子は、血小板由来増殖因子ファミリーのメンバーに対する細胞表面チロシンキナーゼ受容体をコードしています。これらの増殖因子は、間葉系細胞のミトジェンです。受容体モノマーに結合した増殖因子の種類によって、機能的受容体がホモ二量体かへ

テロ二量体（血小板由来増殖因子受容体 α および β ポリペプチドの両方から構成される）かが決まります。この遺伝子は、5番染色体上で顆粒球マクロファージコロニー刺激因子遺伝子とマクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子に挟まれており、これら3つの遺伝子すべてが5-q症候群に関与している可能性があります。5番染色体と12番染色体間の転座により、この遺伝子が転座遺伝子ETV6（白血病遺伝子）と融合し、好酸球増多症を伴う慢性骨髄増殖性疾患を引き起こします。

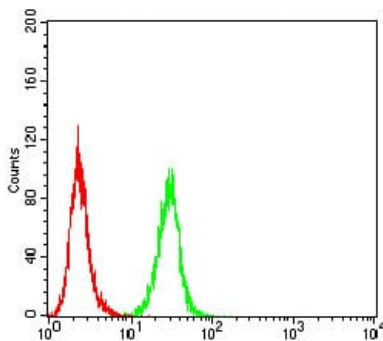
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



PDGFRB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。